



年金者組合に入ってヨ
心のオッパイ飲んでよ
強気なガマンをしている人に
プライドがジャマな人に
ともだちが欲しい人に
飲むと元気が出るよ

四季彩々

No.23 2008年11月号 隔月発行
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
岐阜市美江寺町2-1教育会館内 TEL 058-266-0184
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250

新しい仲間を紹介

9月と10月の組合員の加入者です。

支部名	~~~~~		
西濃	江崎 俊子 柘植 藤 伊藤ハルエ 鬼頭 礼子		
多治見	宮嶋 敏明 橋本 定夫 松田 定夫 水野 和子 小島 郁代 宮田 すゞ 宮嶋 房枝 長谷川 里 伊藤恵美子 若尾 桂 松田てる子 大前 育子 加藤 久子 嶋田タカエ		
恵那	牧野 倫一 小川 妙子 唐沢 睦美 近藤 綾子 長谷川とき 志水 花代 小池 好明 山内昭子		

祝 召し上がれ



11月27日(木)~28日(金) 全県交流集会
2009年 3月24日~25日
東海ブロック支部交流集会(岐阜・ホテルパーク)

最初に山に登ったのは中学二
年の時に父親に連れられて登っ
た「白馬岳」である。その時の
山の感動が忘れられず、毎年登っ
て来た。だから登山暦は50余年
となる。思えば随分と長く続い
たものだ。

今年になって北海道の「駒ヶ岳」
北アルプスの最奥に鎮座する
「赤牛岳」に続いての三山目で
達成である。

錦織の山々に囲まれた山頂に
「ヤッター」の声が上がった。
幻の怪魚「タキタロウ」が住む
と云う大鳥池を懐に抱く以東岳
(山形県)である。



土岐支部長 水野岑生さん67才

「二百名山」は踏破

今のままの山を後生の人たちに
も伝えて生きたいと思う。
これからは体力に応じた山行きを
少し「のんびり」としたい。

今山岳部どころか若い人達もあ
まり見掛けなくなりました。
余裕も体力もあまり無いのかも知
れない。可哀相にさえ思う。

グループ登山の時もあれば単独の
時もある。二百名山のうち半数近
くが単独行である。
やはり山の険しさや不便などこ
ろに立地していることから、皆が
敬遠しがちだった所以もある。昔
は大学山岳部の人達が冬山に備え
ての夏山合宿としての多くのパー
ティとも行き交ったものである。

緊張感ある話に付いた、
チヨイわるおやじのイロ
ケばなしは好きです。

「司会者に合出ったのが
失敗のはじまりでした」
なぜか爆笑でした。人を
けなして、お笑いをとる
高度なテクニクに腰を
抜かしました▼「男3人
と女2人で山に登ったが、
遅くなった。暗くなり
はじめ、雨が降り、雷がピ
カーと光りゴロゴロ鳴り
だした。慌てて下ったが
服や靴はベタベタ、グシヨ
グシヨ。やつと下山、雨
のなか男は車中、女はそ
ばにあった小屋で着替え
たけど、あの時、チヨツ
トのぞきたかった」▼こ
こで大きな笑い起きた

は心地いいのでしょうか、
笑って、次の笑いを求め
ています。面白い人ほど
失敗を繰り返している▼
「司会者に合出ったのが
失敗のはじまりでした」
なぜか爆笑でした。人を
けなして、お笑いをとる
高度なテクニクに腰を
抜かしました▼「男3人
と女2人で山に登ったが、
遅くなった。暗くなり
はじめ、雨が降り、雷がピ
カーと光りゴロゴロ鳴り
だした。慌てて下ったが
服や靴はベタベタ、グシヨ
グシヨ。やつと下山、雨
のなか男は車中、女はそ
ばにあった小屋で着替え
たけど、あの時、チヨツ
トのぞきたかった」▼こ
こで大きな笑い起きた

- 一、本気で年金者組合に恋をすること
- 二、目標を持つこと
- 三、対象者リストの作成(真面目に)
- 四、先ず行動を!
- 五、紹介してもらおう
- 六、勝手に判断するな
- 七、駄目でもともと
- 八、組合の行事に誘う
- 九、義理を活用する
- 十、拡大に楽しさを感じる



多治見支部事務局長 鈴木徳治さん

先ず！年金者組合に恋を！

多治見支部は10月に14人組合員をふやされました。そこで多治見支部の事務局長 鈴木徳治さんに「仲間づくり」について思いを寄せていただきました。

仲間づくりに寄せて

私の体験から仲間づくり
についての雑感を上記のよ
うにまとめて見ました。
仲間づくりは年金者組合
活動の大きな柱であると思
う。増やさなければ確実に
減っていく組織だからであ
る。如何に雄大な展望や、
リッパな会議などを続けて
も、組合員がいなければ何
もできない。やはり「数は
力である」
「年金問題をよくしよう」
「一人ぼっちをなくそう」
「戦争より平和」等々、年
金者組合の主旨にはほとん
どの人が賛同してくる。誰
つまり人生後半の人なら誰
でも対象者であると言う大
きなメリットを持った組織
でもあります。
わたしが組合に入会して
まもなく、笠原町に班を作っ
て欲しいと支部から話があ
り、組合員6人からのスター
トだったが私なりに工夫
計画を立てて精いっぱいやっ
てきた。
この10月末に65人の班に
までなった。これは班の仲
間の協力のおかげと感謝の
気持ちで一杯です。
ちなみにボクのバックに
はいつも入会申込み書が入っ
ています。

バス一台でうば捨て山に

恵那支部では毎年「カール
チャートリップ」と称する
バス旅行を企画し、文化的
な行事を行っています。今
年は9月28日の全日本年金
者組合主催の姨捨山全国大
集会に参加を募って、44名
が早朝からバスに乗り参加
しました。バスの中では学
習をしたり、歌を歌いなが
ら若々しく過ごしました。
会場は長楽寺の駐車場で
それほど広くはなく、参加
した500人余りにはちょうど
良かった。都道府県代表の
あいさつがあり、北は北海
道、南は佐賀からも参加し
ていることがわかった。岐
阜県は長谷川委員長があい
さつで「今日は80人参加し
ている」と報告された。

最後にアピール文が採択さ
れ、印象に残っているのは
「全国に多くある姥捨山伝
説は年寄りを養いきれない
昔の痛ましい現実と共にそ
の年寄りの知恵で難問を解
決する話。しかし、後期高
齢者医療制度はそういう思
いは全くなく、年寄りには
高いお金をかける必要はな
いという本音があらさま
である。今日集まった私た
ちは山を下り、それぞれの
地域で年金者一揆、世直し
一揆、総選挙で世直しする」
ことを誓い合いました。
集会終了後、戸倉上山田
温泉で温泉につかり、サー
ビスエリアでお土産を買っ
ての帰途、充実した一日で
した。 恵那支部 AK



土岐支部の熊野古
道歩き、一泊二日、
2万円の値打ち
旅行。30人も集ま
りました。夕食の
会場にはステージ
なし、カラオケ、マイク
なし、新しい人が2人い
る、お酒が入り食後の計
画は何もない▼そこでオ
イラがしやしゃり出て司
会をはじめた。「これか
ら皆さんの失敗談を話し
ていただきます」と言い終わらないう
ちに「結婚が一番の失敗
です」と女性の言葉に絶
句、そして大笑いが起き
ました▼少し思いをめぐ
らせるとドンドン失敗談
が出てきて、笑いを取っ
ていきます。人の失敗談
は心地いいのでしょうか、
笑って、次の笑いを求め
ています。面白い人ほど
失敗を繰り返している▼
「司会者に合出ったのが
失敗のはじまりでした」
なぜか爆笑でした。人を
けなして、お笑いをとる
高度なテクニクに腰を
抜かしました▼「男3人
と女2人で山に登ったが、
遅くなった。暗くなり
はじめ、雨が降り、雷がピ
カーと光りゴロゴロ鳴り
だした。慌てて下ったが
服や靴はベタベタ、グシヨ
グシヨ。やつと下山、雨
のなか男は車中、女はそ
ばにあった小屋で着替え
たけど、あの時、チヨツ
トのぞきたかった」▼こ
こで大きな笑い起きた

年金者組合 女性の暮らしのアンケート

(伝えたい思いや、願い、要求など何でも書いて下さい) からのアンケート回答のごく一部の転載です。

- 税金、保険料が高すぎる。生活が苦しい、子ども、孫などにも手と金がかかる。
- 夫が亡くなった時、年金額にすごく不安になる。
- 世間のしがらみから抜け出すことが難しい。学習を深め、独立した人間として歩みたい。
- 夫は赤字覚悟で田んぼを守っているが、高齢で明日は分からない、お先まっくら。税金、介護保険、医療保険などビックリする額、天引き同然で取られるのは腹が立つ。
- 文字が正しく書けなくなってきた。手足がしびれてきた。この先どうなるだろうと、このアンケートを書きながら「後期高齢者医療制度」の廃止を強く望んでいます。
- 将来、家の跡取りもおらず一人暮らしで不安だらけです。健康やボケのことで「青山フェニックス」を学び大変勉強になります。老人ホームに行く身ですが、なるべく行かないよう頑張れたらいいと思っています。
- 若い人達も必死で働き、日々やっとの生活の為、年輩いた親たちの面倒がみられないと思うので心配です。
- 不安だらけです。孤独死も覚悟しました。一日中だれとも、しゃべらない日もあります。

次号に続きます。

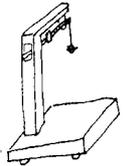
老木のひとり琴 ③

「それって何？」といわれ、戦前生まれの人からは、「今ごろ何？」といふがしがられ、中には「思い出すのも胸糞悪い」という人もいるに違いない。

「内務官僚」である。今では死語、戦前は官僚の中の官僚。各県の知事をはじめ幹部や特高を含む警察の上層部はすべてこの内務官僚が独占。国民の頭の中(思想)から大掃除まで、国民生活を丸ごと管理してきたのがこの内務官僚である。

カラスの鳴かない日はあつても厚生労働省のことがニュースにならない日はないといつてもいい。その厚生労働省の前身の一つ厚生省は、一九三八年(昭和十三年)内務省から分かれて設置されたことになる。先祖は内務省ということになる。「国民の厚生の上ををはかるため」とあるが、そんなきれいなことではない。その前年に日中戦争が始まり、肝心の兵力である若者は、結核と筋骨薄弱な体位の者が

増加し、徴兵検査



国家はあつても、国民はない

では、甲種合格が減り、丙種(不合格)が増えていった。これは、農村は貧しく、都市の労働者はひどい労働条件で働かされた結果である。このことは政府・軍部にとつて一大事である。そこで、厚生省を設け、「健民健兵」を育成し、兵隊という大切な人的資源を確保しなければならなくなったというわけである。この考えには「国家はあつても、国民はない」といつてもいい。

戦後、真つ先に内務省は廃止された。しかし、果たして内務官僚はなくなつたのか。昨今の年金や医療への厚生労働省の対応を見てみると、「国家はあつても、国民はない」という考えは生きてるように思える。戦前の内務官僚の復活か、「先祖がえり」といつたらいいのかわからない。いや、ずーととしぶとく生き続けているのかも知れない

岐阜 福井信郎

文藝・浮世うた

川柳

見もせずに国民の目線と良く云うよ 岐阜県 鈴木徳治
今年の「年金一揆2008むしる旗川柳」に多治見支部員が優秀作品に選ばれました(一作品です)。

安心も安全もない金もない
失言は本心と誰も知っている
西濃支部 トシエ
西濃支部 精司
まめな会元氣もらいに早出する
岩村分会 田口秀子
朝晩に佛拜んで年を取り

詩 かぜものがたり

草を揺らしながら
散歩している
ほほえみ
梢のあいだをくぐり抜けながら
走つていく
がんばり
蜘蛛のアミを
忍び足で通り過ぎていつた
ため息



白い雲と
旅をしている
あこがれ
むすうの目が見ている
だれもない
のに
多治見 岩井昭

先号のつづきです。

審査会へ口頭陳述

後藤 金夫 77歳

法事といえども一つ、余りつき合ひの多くない友人が隣にいたが、その友人は「今まで業者団体の推薦の自民党か選挙で投票しなかったが今度はいれん!」この保険は何だ!と怒っていました。今、全国で同様の怒りが上がっています。

ここに8月11日付けの毎日新聞を持ってきました。投書欄です(横浜市71歳、男性)。後期高齢者医療制度が始まっ

たがまだ国民に理解されていなくて政府は各紙に全面広告を出している。この政策はきわめて論理的で、分かりやすい。すなわち、今後医療費の増加が予想される!その増加の多くは高齢者の医療費である。従つて、高齢者の医療費を減らすべきである!このためには高齢者を区別して医療の質を落とす。要するに病気の高齢者に早く死んでもらえば医療費削減につながるというのである。これを分かりやすくしているのは、この政策が高齢者のためのものだとなし強弁するからである。平素おとなしい国民がこれほど怒っているのは、その内容が分かっ

秋野菜と言えは大根と白菜である。春野菜と違つてあき野菜は種をまく時期がむずかしい。早すぎると虫がつきやすくなり、おそいと気温が下がった場合には成熟しないことになつてしまふ。

私の場合、白菜の播種(はしゆ)は8月中旬で、知り合ひの温室内で育ててもらい、9月上旬に移植して入る。大根は8月27日、9月2日、9日と3回まいりた。大根は10月18日から順次食べている。

白菜は9月4日、穴にオルトラン粒剤(殺虫剤)をまいて移植し、防虫ネットをかけておいた。

最近では地球温暖化で10月もあたたかく、虫に食われてしまふことが多い。大根にはダイアジノン粒剤を播種時にまき、白菜、キャベツ、ブロッコリー、カブには防虫ネットを掛けざるをえない。

試行錯誤の野菜づくり ②

それでも土の中にいる虫やネットが窮屈になつて取り外してからも虫がつくと防除できない。料理する妻は「目に見えない農薬よりも安全である」と言つてくれる。

今年は隣の親切な農家の人に教えてもらったことをやっている。それは大根と白菜が成長するにつれ、外側の葉っぱが地面についてべと病になりやすいし、風通しも悪くなるから順次取り除くことで2回収り除いた。

ブロッコリー、キャベツ、レタスは8月11日にポットに播種したが、レタスはなかなか芽が出てこない。風で飛んでしまふような軽いレタスの種をまいた後に土をかける芽が出てこないことが分かった。

恵那 加藤昌宏



口頭陳述を聞いて

上 宗治

当日は25人、全員傍聴でき、9人の鋭い陳述ができた事に「喜びと面白さ」を感じました。なぜ「喜びと面白さ」を感じたのかと考えてみました。5つあります。

- ①一般市民である我々が、県当局に直接掛け合うことが当然のごとくの様になり、出来たこと。
- ②活動の場が、県の建物の中で県の担当者と顔を見ながら陳述と傍聴ができたこと。
- ③仲間の陳情者が、それぞれ、物怖じもなく、厳しい生活と不条理な医療制度の訴えに。
- ④不服審査請求「口頭意見陳述」で法律に基づいた行動の体験学習ができたこと。
- ⑤国の年寄り虐待制度に対し年金者組合が立派な抵抗勢力に育つていくこと。

このことを実感したから「喜びと面白さ」を感じたと思えました。